

授業科目名・形態	次世代育成ケア論	講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	岩間 薫		実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

少子化に対する支援策が打ち出されているが、次世代を育む母子や家族の支援者となるためには、育児の基礎的知識・技術、母子や家族が直面している状況、現代における育児の諸問題を知ることが必要である。そこで、母性・父性・育児性の概念を明らかにし、思春期および性と生殖の健康問題等にも視点を置きながら、次世代を育成・支援することができるための知識・技術を学ぶ。

【到達目標】

1. 母性・父性・育児性の意味と概念を理解する。
2. 性とセクシュアリティの意味と概念を理解する。
3. 思春期の健康とセクシュアリティについて理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 母性・父性・育児性とは①
- 第2回 母性・父性・育児性とは②
- 第3回 母性・父性・育児性とは③
- 第4回 思春期の健康とセクシュアリティ①：セクシュアリティとは①
- 第5回 思春期の健康とセクシュアリティ②：セクシュアリティとは②
- 第6回 思春期の健康とセクシュアリティ③：思春期の性の理解①
- 第7回 思春期の健康とセクシュアリティ④：思春期の性の理解②
- 第8回 まとめ

【授業実施方法】

講義・演習

【授業準備】

授業中、疑問に思ったことや出された課題は、次回の授業までに必ず調べ、まとめておくこと。

【主な関連する科目】

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、母性看護学概論、母性看護学方法論、母性看護学実習、助産科目

【教科書等】

資料配付

【参考文献】

適宜提示

【成績評価方法】

筆記試験 90%、授業への取り組み姿勢・提出物等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

国公立大学医学部附属病院で助産師として産婦人科病棟や外来において母性各期にある女性や妊産褥婦およびその家族への対応や看護等の実務経験あり。

実務経験から得た母性看護における知識や技術を妊産褥婦および新生児の看護や援助等を行うための授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

「母性とは?」「父性とは?」今まで、考えてみたことはありますか?

母性看護の対象理解につながる基本的な概念、性やセクシュアリティについて一緒に考えていきましょう。